

ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第74号 2024年6月



ほたるの里の木（初夏）



- ①サルスベリ ②ハリギリ ③クスノキ ④ヤマボウシ ⑤ケヤキ
⑥トチノキ ⑦ザクロ ⑧ポポーノキ（アケビガキ）

※この里だよりは 令和6年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

第27回総会報告

日時：2024年4月13日（土）9：30～10：45

場所：やちよ農業交流センター第1・2研修室

会長挨拶

本日は、八千代市ほたるの里づくり実行委員会第27回総会にご参加いただき、ありがとうございます。また、日頃、ほたるの里へのご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

ほたるの里がつくられてから27年目の活動となり、当初より自然が豊かな里の景観にもなりました。これもひとえに、長年の皆様のご支援、ご協力をいただいたものと感謝申し上げます。

生き物がすめる環境づくりは、ホテルメイトの仲間やTOTO（株）さんなどのご協力を頂き、楽しく和気あいあいと活動しています。生き物の立場に立って、仲間の意見を取り入れ、試行錯誤しながらの活動も楽しいものです。

金室 彰



また、子どもたちと一緒に里での体験を通して、次世代へとつながることを願っています。

今年もほたるの里へのご支援をよろしくお願いいたします。

総会開催報告 議案は全て承認されました。下記の質疑応答があり盛況でした。

Q：“ヘイケボタル飛翔調査”の「最大7匹の成虫を確認した」について、当報告の個体調査は結果として多いのですか？少ないのですか？

A：実行委員会ではヘイケボタルの自生を目指し、令和5年は、幼虫の放流をしていない結果です。令和6年も放流しないので、自生が確認できればと期待しています。

Q：協働・連携推進「オオフサモの駆除」で駆除の数量が年々少なくなっている理由を教えてください。

A：ヤマトミクリの里づくり協議会（当会も協議会会員）における環境管理活動の成果だと思います。

Q：参考ですが、活動している実叡のヘイケボタルの飛翔時期は早くなっています。

A：生育している場所によりますが、ほたるの里でも調査日を早めることを検討します。

他 さまざまなお意見を頂きました。

令和6年度里の整備活動（予定） 活動内容：環境整備 場所：ほたるの里

～安全に、楽しく生き物の立場に沿って活動しましょう！～

月 日（曜 日）	時 間	月 日（曜 日）	時 間
令和6年 4月 6日（土）	9：00～11：00	10月12日（土）	9：00～11：00
5月11日（土）	9：00～11：00	11月 9日（土）	9：30～11：30
6月 8日（土）	9：00～11：00	12月14日（土）	9：30～11：30
7月13日（土）	9：00～11：00	令和7年 1月11日（土）	9：30～11：30
8月10日（土）	9：00～11：00	2月 8日（土）	9：30～11：30
9月14日（土）	9：00～11：00	3月 8日（土）	9：30～11：30

総会の後の、木の観察会に参加しました。新川沿いを自然といくつかのグループになって歩きました。どのグループも話しているのは木や草など自然についてのことだったようです。

ほたるの里に着いてからは、森さんを中心に木についての話をたくさん聞きました。まずは、このそんなに広くない里の中にある木の種類の多さにびっくり。その分布図の存在にも。

里の中に入って、木の種類やその見分け方を教えてもらいました。名前をよく聞く木から、初めて聞く名前の木、そしてそれらの微妙な木の幹の模様や葉の形の違いなど、一度ではなかなか覚えられませんが、とても興味深かったです。約27年前に植えられた木々は、大きく育ちながら、日光を求めてそれぞれに枝を伸ばしていった姿になっているとのことでした。また、初めに植えられた木がそのままあるのではなく、鳥などによって運ばれた種によって自然に芽を出して育っていったものも多々あるそうです。



中でも北米原産のポポーノキの話は印象的で、生き物のつながりやたくましさを感じました。桜の花もそろそろ終わりでしたが、桜の種類もたくさんあり、ほたるの里には、これから咲く桜が2種類あるという話を聞き、ぜひ見に来たいと思いました。

木を観察しながらも足元に動く生き物を発見しました。初めにニホンアマガエル（多分）。次にニホンアカガエル。ニホンアカガエルをじっくり見たのは初めてで、目の周りが金色でかわいかったです。

ほたるの里だより表紙絵のつづき

ホタルメイト 森 繁

「ほたるの里だより」の発行も、20年を超えました。

里だよりの最初は、白黒で、自分たちでコピー機にかけることから始まりましたが、当時のコピー機の性能では写真の微妙な濃淡を写し取るのは、なかなか困難でした。試行錯誤していたのですが、“なかなか効果が出ませんでした。”

そこでイラストを使うことになりました。その時代がしばらく続きましたが、そのころ高校の生物の生徒さんのイラストを見せてもらう機会がありました。美しい流麗な線で描かれていました。当時70才を超えていた私にはできない美しい線でした。それならばと、とぎれとぎれの線でつないでいくと、見た人がうまく補ってくれることを考え、今に至っています。

さて、里だよりをより読んでもらうにはどうすれば良いかとの議論が起こりました。

そこで、「表紙絵」が始まったのです。はじめは白黒でしたが、いろいろな援助があり、カラーになって現在になりました。

ほたるの里づくり実行委員会は、自然に関わる団体です。イラストとはいえ、あまり嘘は描けません。実物を取材してというのが基本ですが、鳥や虫や動物はそうはいきません。鳥の羽は何枚か、虫の構造はどうなっているのかなどを調べてから省略したりします。植物の場合もそうです。

カラーになって、輪郭線がないと絵がボケる。緑や紫の色は、機械は苦手などいろいろなことが分かりました。輪郭線を入れて色彩を単純にして塗り絵のようになりました。

どなたでも描けるので、皆さんの投稿があってもおもしろいかななどと思っております。

以上描き手のつづきでした。

里の整備作業（3月～5月）

15 陸の豊かさも
守ろう



（5月）新緑のほたるの里



（5月）草刈り



ミカドガガンボ

里からのお知らせ・・・

◆ほたるの里で考えてみよう SDGs・ESD ってなんだろう ～この木なんの木 木札をつけよう～

開催日 : 7月21日(日)9:00～11:00
場 所 : 八千代市ほたるの里（米本4816）
募集人数 : 小学生以上の親子 先着20人（10組程）
参加費 : 200円 /人
申し込み : 7/1（月）～7/16（火）

申し込み先：八千代市環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室 Tel：047-421-6767



◆おやこ生き物探検隊 ～夏の夜～

夜の生き物、どんな生き物に出会えるのかな？

開催日 : 7月20日(土) 18:30～20:30
場 所 : 八千代市ほたるの里（米本4816）
集 合 : ふるさとステーション（18:30）
募集人数 : 小学生以上の親子 先着30人（15組程）
参加費 : 200円/人 申し込み：7/1（月）～7/16（火）

申し込み先：八千代市環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室 Tel：047-421-6767



◆ほたるの里（ハイケボタル飛翔調査）がはじまります

調査期間：6月17日(月)～7月31日(水) 調査時間：19:00～20:30
ほたるの里の役員が調査していますので声掛けをお願いします。



〔編集後記〕

2024年度総会を終えて、いよいよ本格的な活動となります。新緑から初夏へ向かう里の風景も、いきいきとしてきます。

実行委員会では、ハイケボタルの自生を目指しています。

結果は？ワクワク・ドキドキしています。
（広報部）

〔ほたるの里 連絡先〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室内

Tel：047-421-6767

E-mail：kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/40/3728.html

【編集】広報部会・事務局